

令和6年度 盛岡友愛病院指標

病院指標とは、DPCデータを基に厚生労働省が定めた集計条件などに沿って資料を作成するもので、皆さんに情報公開を勧めることにより、当院の特徴や急性期医療の現状を理解していただくことを目的としています。

現在公表している病院の情報（病院指標）は、令和6年度（令和6年6月1日～令和7年5月31日）中に当院を退院した患者さんのデータを集計の対象として作成しています。ただし、自動車賠償責任保険や労災保険、自費等の患者さんのデータは集計対象外となります。また、来院時心肺停止を含む入院後24時間以内に死亡した患者さんのデータも集計対象外です。

個人情報が特定できないようにするために、指標のなかで10未満の数値は「一」と表示しています。

<DPCとは>

入院患者さんを病気と治療法によって分類し、その分類ごとに国が定めた1日あたりの入院費を包括支払いとして計算する制度です。

- 1. 年齢階級別退院患者数
- 2. 診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）
- 3. 初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数
- 4. 成人市中肺炎の重症度別患者数等
- 5. 脳梗塞の患者数等
- 6. 診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）
- 7. その他（DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）
- 8. 医療の質

1. 年齢階級別退院患者数

入院患者さんの人数を10歳刻みの年齢階級表別に集計しています。

＊年齢は、入院日の満年齢となります。

年齢区分	0～	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	90～
患者数	-	17	12	30	55	139	236	495	437	181

2. 診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

DPCでは入院患者さんの情報が病気と治療法（手術や処置など）によって診断群に分類されます。診療科ごとに患者数上位5つの診断群分類について集計しています。ただし、包括対象となるDPC分類は集計に含まれません。指標に示されるそれぞれの項目に関しては以下の通りです。なお、各項目集計対象となる件数が10未満の場合は、数値、各項目は表示しません。

●DPCコード

診断群分類を表すコードです。病気と治療法の組み合わせによって分類されますので、同じ病気でも治療方法が違えばDPCコードは異なります

●名称

どのような病気と治療方法で分類されているかを表します。

●平均在位日数（自院）

病院に入院していた日数（在院日数）の平均値です。

●平均在院日数（全国）

厚生労働省より公表されている令和6年度における全国のDPC対象病院の在院日数の平均値です。

●転院率

該当する患者数の内、当院から他の病院に移動して継続入院（転院）することとなった患者さんの割合です。

心療内科

DPCコード	DPC名称	患者数	自院 平均在院日数	全国 平均在院日数	転院率	平均年齢
心療内科の集計対象となる件数は10未満であり、数値、各項目は表示しません。		-	-	-	-	-

呼吸器内科

DPCコード	DPC名称	患者数	自院 平均在院日数	全国 平均在院日数	転院率	平均年齢
0400802499X0XX	肺炎等（市中肺炎かつ75歳以上）手術なし 手術処置等2 なし	22	32.68	16.40	0.00%	85.50
040110XXXX00XX	間質性肺炎 手術処置等 1 なし 手術処置等2 なし	18	56.83	18.68	0.00%	82.28
040081XX99X0XX	誤嚥性肺炎 手術なし 手術処置等2 なし	—	—	20.78	—	—
0400802299X001	肺炎等（市中肺炎かつ15歳以上65歳未満）手術なし 手術処置等2 なし 副傷病なし A-DROP スコア1	—	—	9.71	—	—
070320XX99XXXX	筋拘縮・萎縮（その他）手術なし	—	—	25.21	—	—

消化器内科

DPCコード	DPC名称	患者数	自院 平均在院日数	全国 平均在院日数	転院率	平均年齢
060100XX01XXXX	小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍を含む。） 内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術	67	2.03	2.57	0.00%	65.28
070320XX99XXXX	筋拘縮・萎縮（その他） 手術なし	12	30.75	25.21	0.00%	86.75
100380XXXXXXXX	体液量減少症	—	—	10.26	—	—
06007XXX9900XX	膵臓、脾臓の腫瘍 手術なし 手術処置等 1 なし 手術処置等2 なし	—	—	11.01	—	—
040081XX99X0XX	誤嚥性肺炎 手術なし 手術処置等2 なし	—	—	20.78	—	—
060035XX99X0XX	結腸（虫垂を含む。）の悪性腫瘍 手術なし 手術処置等2 なし	—	—	7.91	—	—

循環器内科

DPCコード	DPC名称	患者数	自院 平均在院日数	全国 平均在院日数	転院率	平均年齢
050130XX9900X0	心不全 手術なし 手術処置等 1 なし 手術処置等2 なし 他の病院・診療所の病棟からの転院以外	51	65.69	17.33	0.00%	84.76
040081XX99X0XX	誤嚥性肺炎 手術なし 手術処置等2 なし	—	—	20.78	—	—
050210XX97000X	徐脈性不整脈 あり 手術処置等 1 なし、1,3 あり 手術処置等2 なし 副傷病なし	—	—	9.59	—	—
050130XX9900X1	心不全 手術なし 手術処置等 1 なし 手術処置等2 なし 他の病院・診療所の病棟からの転院	—	—	20.85	—	—
070320XX99XXXX	筋拘縮・萎縮（その他） 手術なし	—	—	25.21	—	—
110310XX99XXXX	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	—	—	13.66	—	—

外科

DPCコード	DPC名称	患者数	自院 平均在院日数	全国 平均在院日数	転院率	平均年齢
050180XX02XXXX	静脈・リンパ管疾患 下肢静脈瘤手術等	154	2.47	2.66	0.00%	65.25
060160X001XXXX	鼠径ヘルニア（15歳以上） ヘルニア手術 鼠径ヘルニア等	60	4.67	4.54	0.00%	66.40
160610XX01XXXX	四肢筋腱損傷 関節鏡下肩腱板断裂手術等	12	8.83	16.15	0.00%	58.58
060241XX97XXXX	痔核 あり	—	—	5.38	—	—
090010XX010XXX	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴うもの（内視鏡下によるものを含む。））等 手術処置等 1 なし	—	—	9.77	—	—

整形外科

DPCコード	DPC名称	患者数	自院 平均在院日数	全国 平均在院日数	転院率	平均年齢
070230XX01XXXX	膝関節症（変形性を含む。） 人工関節再置換術等	38	51.66	21.38	0.00%	72.29
160800XX02XXXX	股関節・大腿近位の骨折 人工骨頭挿入術 肩、股等	23	89.78	25.29	0.00%	81.35
07040XXX01XXXX	股関節骨頭壊死、股関節症（変形性を含む。） 人工関節再置換術等	21	53.00	18.76	0.00%	69.95

070343XX01X0XX	脊柱管狭窄（脊椎症を含む。）腰部骨盤、不安定椎 脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間又は多椎弓の場合を含む。）前方椎体固定等 手術処置等2 なし	20	50.70	19.60	0.00%	70.65
070341XX020XXX	脊柱管狭窄（脊椎症を含む。）頸部 脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間又は多椎弓の場合を含む。）前方椎体固定等 手術処置等1 なし	16	36.44	19.40	0.00%	66.25
070343XX97X0XX	脊柱管狭窄（脊椎症を含む。）腰部骨盤、不安定椎 その他の手術あり 手術処置等2 なし	16	26.38	15.41	0.00%	73.44

脊椎外科

DPCコード	DPC名称	患者数	自院 平均在院日数	全国 平均在院日数	転院率	平均年齢
070343XX97X0XX	脊柱管狭窄（脊椎症を含む。）腰部骨盤、不安定椎 その他の手術あり 手術処置等2 なし	108	21.68	15.41	0.00%	71.35
070160XX01XXXX	上肢末梢神経麻痺 手根管開放手術等	14	11.64	4.24	0.00%	72.07
070350XX02XXXX	椎間板変性、ヘルニア 椎間板摘出術 後方摘出術	12	15.67	13.83	0.00%	48.50
070350XX03XXXX	椎間板変性、ヘルニア 椎間板内酵素注入療法	10	2.10	2.86	0.00%	60.00
070080XX97XX0X	滑膜炎、腱鞘炎、軟骨などの炎症（上肢）あり 副傷病なし	—	—	6.57	—	—

神経内科

DPCコード	DPC名称	患者数	自院 平均在院日数	全国 平均在院日数	転院率	平均年齢
030400XX99XXXX	前庭機能障害 手術なし	11	11.64	4.67	0.00%	68.55
010060XX99X20X	脳梗塞 手術なし 手術処置等2 2あり 副傷病なし	10	66.30	16.94	10.00%	77.90
010060XX99X40X	脳梗塞 手術なし 手術処置等2 4あり 副傷病なし	—	—	16.89	—	—
040081XX99X0XX	誤嚥性肺炎 手術なし 手術処置等2 なし	—	—	20.78	—	—
070320XX99XXXX	筋拘縮・萎縮（その他） 手術なし	—	—	25.21	—	—

泌尿器科

DPCコード	DPC名称	患者数	自院 平均在院日数	全国 平均在院日数	転院率	平均年齢
110080XX991XXX	前立腺の悪性腫瘍 手術なし 手術処置等1 あり	38	2.00	2.45	0.00%	71.26
110280XX9900XX	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術処置等1 なし 手術処置等2 なし	12	19.25	11.35	8.33%	79.92
110280XX02X00X	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 動脈形成術、吻合術 その他の動脈等 手術処置等2 なし 副傷病なし	—	—	7.38	—	—
11022XXX01XXXX	男性生殖器疾患 精索捻転手術等	—	—	3.53	—	—
110310XX99XXXX	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	—	—	13.66	—	—

婦人科

DPCコード	DPC名称	患者数	自院 平均在院日数	全国 平均在院日数	転院率	平均年齢
婦人科の集計対象となる件数は10未満であり、数値、各項目は表示しません。		-	-	-	-	-

3. 初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数

5大癌と呼ばれる胃癌、大腸癌、乳癌、肺癌、肝癌の患者さんの人数を初発のUICC病期分類別、および再発に分けて集計しています。「初発」とは、当院において、その癌の診断あるいは初回の治療を実施した場合を指します。「再発」とは、当院もしくは他院で初回治療が完了した後に当院にて診療する場合や、治療後に再発、再燃または新たな遠隔転移をきたした場合をさします。集計は、令和6年度中に退院した延患者数となっています。つまり、集計対象期間中に複数回入院された患者さんは複数例としてカウントしています。

● UICC病期分類

国際対がん連合（UICC）によって定められた、

①原発巣の大きさと進展度

②所属リンパ節への転移状況

③遠隔転移の有無

3つの要素によって各癌をⅠ期（早期）～Ⅳ期（末期）の4病期（ステージ）に分類するものです。

癌名称	初発：StageⅠ	初発：StageⅡ	初発：StageⅢ	初発：StageⅣ	初発：不明	再発	病期分類基準（※）	版数
胃癌	—	—	—	—	—	—	1	8
大腸癌	—	—	—	—	—	11	1	8
乳癌	—	—	—	—	—	—	1	8
肺癌	—	—	—	—	—	11	1	8
肝癌	—	—	—	—	—	—	1	8

※ 1：UICC TNM分類，2：癌取扱い規約

4. 成人市中肺炎の重症度別患者数等

成人の市中肺炎の患者さんの人数を重症度別に集計しました。成人市中肺炎診療ガイドライン（日本呼吸器学会）による重症度分類システムを用いています。この指標では細菌による肺炎を集計しており、インフルエンザウイルスなどのウイルスによる肺炎や食べ物の誤嚥による肺炎、気管支炎などは集計対象外となっています。また、成人の肺炎の指標なので、小児肺炎も集計対象外となります。

● 市中肺炎

普段の社会生活のなかでかかる肺炎のことです。

● 平均在院日数

病院に入院していた日数（在院日数）の平均値です。

重症度	患者数	平均在院日数	平均年齢
軽症	—	23.00	62.00
中等症	34	40.24	78.35
重症	12	37.83	86.00
超重症	—	13.00	73.25
不明	—	0.00	0.00

5. 脳梗塞の患者数等

●平均在院日数

病院に入院していた日数（在院日数）の平均値です。

●転院率

該当する患者数の内、当院から他の病院に移動して継続入院（転院）することとなった患者さんの割合です。

発症日から	患者数	平均在院日数	平均年齢	転院率
3日以内	27	88.15	79.44	18.52%
その他	34	108.38	79.24	14.71%

6. 診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

診療科ごとの手術について患者数上位5つを集計しています。手術（処置）のなかで輸血、創傷処理、皮膚切開術、非観血的整復術、軽微な手術は集計対象外となっています。指標に示されるそれぞれの項目に関しては以下の通りです。なお、各項目集計対象となる研修が10未満の場合は、数値、各項目は表示しません。

●Kコード

手術術式の点数表コードです。

●名称

手術術式の名称です。

●平均術前日数

入院日から手術日までの日数の平均です。手術日当日は含まれません。

●平均術後日数

手術日から退院日までの日数の平均です。手術日当日は含まれません。

●転院率

該当する患者数の内、当院から他の病院に異動して継続入院（転院）することとなった患者さんの割合です。

心療内科

Kコード	名 称	患者 数	平均術前日 数	平均術後日 数	転院 率	平均年 齢
心療内科の集計対象となる件数は10未満であり、数値、各項目は表示しません。		-	-	-	-	-

呼吸器内科

Kコード	名 称	患者 数	平均術前日 数	平均術後日 数	転院 率	平均年 齢
呼吸器内科の集計対象となる件数は10未満であり、数値、各項目は表示しません。		-	-	-	-	-

消化器内科

Kコー ド	名称	患者 数	平均術前日 数	平均術後日 数	転院率	平均年 齢
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径2センチメートル未満）	51	0.25	1.16	1.96%	66.80
K7212	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径2センチメートル以上）	19	0.05	1.05	0.00%	63.74
K664	胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。）	—	—	—	—	—
K735-4	下部消化管ステント留置術	—	—	—	—	—
K654	内視鏡的消化管止血術	—	—	—	—	—
K722	小腸結腸内視鏡的止血術	—	—	—	—	—

循環器内科

Kコード	名 称	患者 数	平均術前日 数	平均術後日 数	転院 率	平均年 齢
循環器内科の集計対象となる件数は10未満であり、数値、各項目は表示しません。		-	-	-	-	-

外科

Kコード	名称	患者 数	平均術前日 数	平均術後日 数	転院率	平均年 齢
K617-4	下肢静脈瘤血管内焼灼術	134	0.52	1.55	0.00%	63.96
K634	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（両側）	56	1.00	2.61	0.00%	66.09
K617-6	下肢静脈瘤血管内塞栓術	19	0.32	1.05	0.00%	73.74
K080-41	関節鏡下肩腱板断裂手術（簡単なもの）	—	—	—	—	—
K616	四肢の血管拡張術・血栓除去術	—	—	—	—	—
K7435	痔核手術（脱肛を含む。）（根治手術（硬化療法（四段階注射法によるもの）を伴うもの））	—	—	—	—	—

整形外科

Kコー ド	名称	患者 数	平均術前日 数	平均術後日 数	転院率	平均年 齢
K0821	人工関節置換術（肩、股、膝）	64	6.95	45.36	0.00%	71.69

K1426	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間又は多椎弓の場合を含む。）（椎弓形成）	27	1.70	26.56	0.00%	70.70
K0461	骨折観血の手術（肩甲骨、上腕、大腿）	22	14.14	70.73	0.00%	81.73
K1423	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間又は多椎弓の場合を含む。）（後方椎体固定）	20	6.00	42.40	0.00%	70.90
K0462	骨折観血の手術（前腕、下腿、手舟状骨）	—	—	—	—	—

脊椎外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K142-8	顕微鏡下腰部脊柱管拡大減圧術	64	1.52	15.44	0.00%	69.84
K1426	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間又は多椎弓の場合を含む。）（椎弓形成）	42	1.79	23.52	0.00%	73.21
K1342	椎間板摘出術（後方摘出術）	15	2.53	15.93	0.00%	53.33
K093	手根管開放手術	12	1.25	8.67	0.00%	71.75
K134-4	椎間板内酵素注入療法	10	0.00	1.10	0.00%	60.00

神経内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
神経内科の集計対象となる件数は10未満であり、数値、各項目は表示しません。		-	-	-	-	-

泌尿器科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
泌尿器科の集計対象となる件数は10未満であり、数値、各項目は表示しません。		-	-	-	-	-

総合診療科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
総合診療科の集計対象となる件数は10未満であり、数値、各項目は表示しません。		-	-	-	-	-

7. その他（DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）

DIC（播種性血管内凝固症候群）、敗血症、真菌症、手術・処置等の合併症の患者数と発生率を集計しました。

●DPCコード

14桁あるDPCコードのうち、6桁で集計しています。DPCコード6桁とは病名による分類を表しており、治療方は分類に関連しません。

●DIC（播種性血管内凝固症候群）

感染症などによって起こる、全身性の重症な病態です。治療に大きな医療資源が投入されるため、該当するDPCで高額な点数が設定されています。

●敗血症

感染症によって起こる、全身性炎症反応の重症な病態です。治療に大きな医療資源が投入されるため、該当するDPCで高額な点数が設定されています。

●真菌症

真菌による感染症です。

●手術・処置等の合併症

手術や処置などに一定割合で発生してしまう病態です。術後出血や創部感染などが挙げられます。合併症はどのような術式でもどのような患者さんでも一定の確率で起こり得るもので、医療ミスとは異なります。

●入院契機

DPCコードにて分類される包括請求の対象となる病気（DPC病名）とは別に、入院の契機となった病気（入院契病名）がそれぞれの入院患者さんにつけられています。DPC病名と入院契機病名が「同一」か「異なる」かにより分けて集計しています。「同一」ということは、ある病気の診療目的で入院して、その病気の治療を行ったということを示します。一方「異なる」ということは、ある病気の診療目的で入院したが併発していた、もしくは入院中に発症した違う病気（この指標の場合は、DIC（播種性血管内凝固症候群）や敗血症、手術・処置等の合併症）による治療が主だったものになってしまったことを示します。

●発生率

全入院患者さんのうち、該当するDPCで入院費の請求となった患者さんの割合です。

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発生率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	—	—
130100	播種性血管内凝固症候群	異なる	—	—
180010	敗血症	同一	—	—
180010	敗血症	異なる	—	—
180035	その他の真菌感染症	同一	—	—
180035	その他の真菌感染症	異なる	—	—
180040	手術・処置等の合併症	同一	13	0.82%
180040	手術・処置等の合併症	異なる	—	—

8. 医療の質

集計期間2024年6月1日 ～ 2025年5月31日
各項目集計対象となる研修が10未満の場合は、分母、分子、割合全ての項目は表示しません。

●リスクレベルが「中」以上の手術を施行した患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率

肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数（分母）…224

分母のうち、肺血栓塞栓症の予防対策が実施された患者数（分子）…213

リスクレベルが「中」以上の手術を施行した患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率…**95.09%**

●血液培養2セット実施率

血液培養オーダー日数（分母）…84

血液培養オーダーが1日に2件以上ある日数（分子）…78

血液培養2セット実施率…**92.86%**

●広域スペクトル抗菌薬使用時の細菌培養実施率

広域スペクトルの抗菌薬が処方された退院患者数（分母）…180

分母のうち、入院日以降抗菌薬処方日までの間に細菌培養同定検査が実施された患者数（分子）…110

広域スペクトル抗菌薬使用時の細菌培養実施率…**61.11%**

●転倒・転落発生率

退院患者の在院日数の総和（分母）…41,801

退院患者に発生した転倒・転落件数（分子）…97

転倒・転落発生率（千分率/パーミル）…**2.32‰**

●転倒転落によるインシデント影響度分類レベル3b以上の発生率

退院患者の在院日数の総和（分母）…41,801

退院患者に発生したインシデント影響度分類レベル3b以上の転倒・転落の発生件数（分子）…11

転倒転落によるインシデント影響度分類レベル3b以上の発生率（千分率/パーミル）…**0.26‰**

●手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率

全身麻酔手術で、予防的抗菌薬投与が実施された手術件数（分母）…402

分母のうち、手術開始前1時間以内に予防的抗菌薬が投与開始された手術件数（分子）…402

手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率…**100.00%**

●d2（真皮までの損傷）以上の褥瘡発生率

退院患者の在院日数の総和 ※同日入退院、入院時すでに褥瘡保有がある患者を除く（分母）…40,697

褥瘡（d2（真皮までの損傷）以上の褥瘡）の発生患者数（分子）…13

d2（真皮までの損傷）以上の褥瘡発生率…**0.03%**

●65歳以上の患者の入院早期の栄養アセスメント実施割合

65歳以上の退院患者数（分母）…1,103

分母のうち、入院後48時間以内に栄養アセスメントが実施された患者数（分子）…1,098

65歳以上の患者の入院早期の栄養アセスメント実施割合…**99.55%**

●身体的拘束の実施率

退院患者の在院日数の総和（分母）…41,801

分母のうち、身体的拘束日数の総和（分子）…3,087

65歳以上の患者の入院早期の栄養アセスメント実施割合…**7.38%**